

## 令和4年度 愛媛県小中学校教頭会活動方針

昭和37年の結成以来、私たち愛媛県小中学校教頭会は「教頭相互の協調を保ち、学校運営の合理化を図り、愛媛県教育の向上に寄与すること」を目的とし、諸先輩方の取組、教育行政や関係諸団体からの御指導・御支援のもと、職能研修団体として発展してきた。

今年度は大きく次の2点を中心に着実な活動を進めていく。

### 1 研究推進

全国公立学校教頭会の研究は、全国統一研究主題「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」のもと、第12期3年次（最終年度）としてまとめを迎える。

私たち愛媛県小中学校教頭会でも、昨年度は、第12期の2年目として、第39回四国地区小中学校教頭会研究大会（愛媛大会）兼 第60回愛媛県小中学校教頭会研究大会（松山大会）を紙面発表とオンラインを合わせたハイブリット方式で開催した。本大会では、サブテーマ「夢と志を持ち 絆を深めながら可能性に挑戦する子供の育成」に向けて、各県教頭会における日頃の研鑽を持ち寄り、継続性、協働性、関与性に焦点を当てた実践・研究を深化させることができた。教頭の職務内容や機能に関わる5課題で継続研究を進めていることは、私たち教頭自らの能力を高めるとともに、教職員の意識改革や学校組織の活性化、地域・家庭との連携強化等につながっており、学校運営の改善に寄与しているものと考えます。

本年度は、これまでの成果と課題を踏まえ、第61回愛媛県小中学校教頭会研究大会（今治大会）を有意義なものとしたい。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、未来を拓く子供を育てるために、教頭としてどのように努力すべきか、研究を推進していきたい。

### 2 業務改善を中心とする組織経営・運営

会員の負担軽減のため、これまでも、会則や各種規程に従って手順を踏まえながら、兼ねられる部分は兼ね、削ることができる部分は削ってきた。更に、「情報提供の迅速化・共有化」をねらい、県教頭会ホームページの充実にも努めてきた。今後もこれらを継続して推進するとともに、健全な組織経営・運営ができてきているかの検証にも取り組みたい。

また、今後も会員の声を聴き、熱意や連携の力を生かしながら、研究推進のみならず、多くの面で互助・共助していく組織であるよう努めていきたい。

これらの実現のために、愛媛県小中学校教頭会は以下の重点目標を掲げ、教頭一人一人が自覚を高め、協力して研究の推進、活動の活性化に努めるものとする。

#### ～ 重点目標 ～

- 1 実践・研究の充実を図り、教育者としての教養と専門性を磨き、管理職として必要な諸能力を高める。
  - (1) 全国共通課題の解明に向けた、組織的・継続的な実践・研究の推進
  - (2) 実践・研究の成果の蓄積と情報の共有化（ネットワーク化）
  - (3) 教育課程編成の工夫と創意ある学校運営
  - (4) 第61回愛媛県小中学校教頭会研究大会（今治大会）に向けた実践・研究
- 2 教頭会組織の発展・強化と関係諸団体との連携を図る。
  - (1) 各支部との連携による組織の円滑な運営と会員相互の連携・交流
  - (2) 関係諸団体との連携（全公教、四国教頭会、県教育会、県校長会等）